

行政視察報告

【議会運営委員会 令和4年7月29日】

■燕市議会「議会運営におけるタブレット端末の活用について」

平成30年からタブレット端末を導入している燕市議会に、導入の目的や経緯・効果・課題や悩み・今後の取り組みについて話を伺ってきた。タブレット導入の最大のメリットはペーパーレス化と経費削減・事務の負担軽減である。燕市では令和3年7月19日から令和4年7月18日までの間に126,395枚の紙資源の削減ができたとのこと。文書のデータ化によって検索性と保存性の向上、議員活動の活性化や市民への説明責任（資料・情報の連帯化）などが挙げられていた。

また、運用に当たってはルールを定め、私的利用は一切認めずセキュリティ対策も徹底されている。見附市議会でも今後、使用基準のルール作りが必要と感じた。一方ペーパーレス化によって、予算・決算書は会派に一冊との説明であったが、これでは議員個人がきちんと審査ができるか、デメリット等もしっかりと勘案して見附市議会として検討していく必要があるのではないかと思う。貸与されたタブレット端末を有効活用していくためには、端末に慣れる議員個人の研鑽と、今後予測されるリスクやデメリット等についても議員間で話し合う機会が必要ではないかと感じた。

副委員長 佐々木志津子

